

I. 目的

本学の4年間の教育課程を評価し今後の教育に生かすことを目的に、本年度卒業する4年生全員を対象に調査を行った。

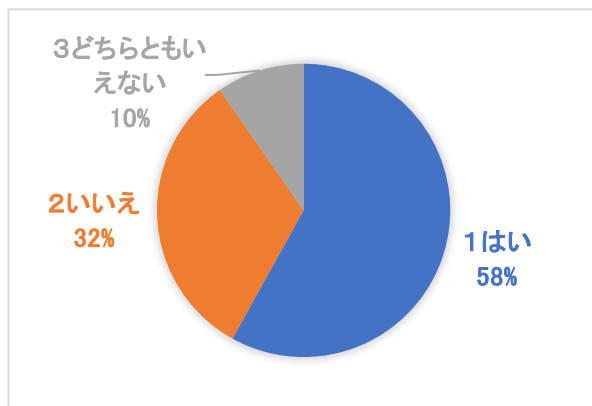
II. 調査方法

- 1) 実施日：2021年2月1日（月） 調査用紙を配布（欠席者には郵送）
- 2) 調査対象者：2020年度卒業予定者 全96名
- 3) 回答結果：回答者93名（回収率：97%）

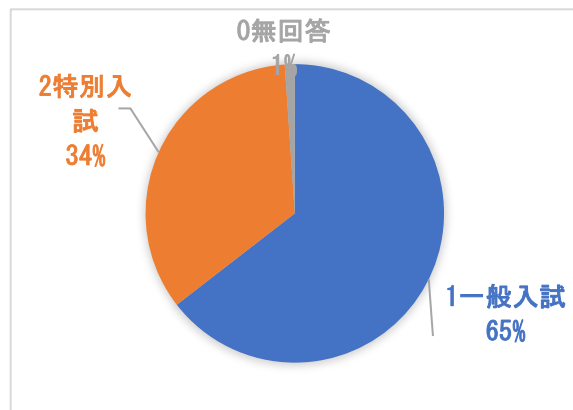
III. 調査結果

1. あなた自身のことについて

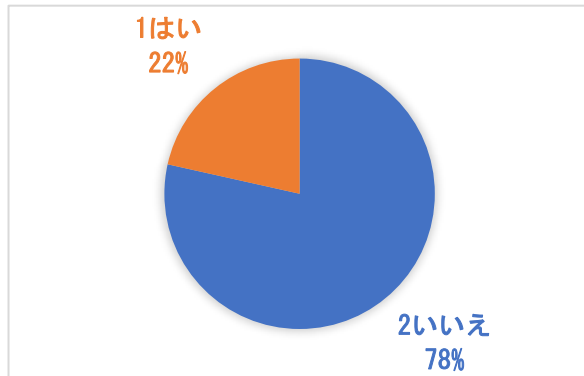
（1）第1志望か



（2）入試区分

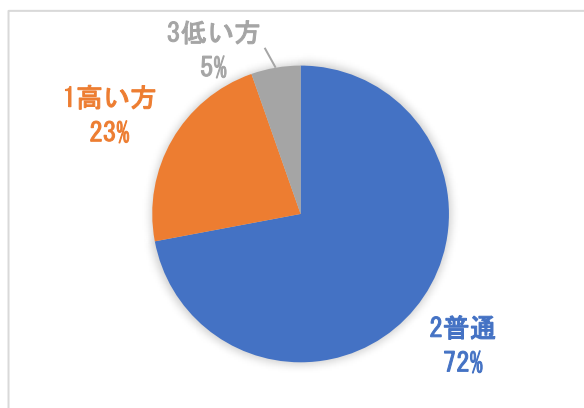


（3）保健師課程の履修

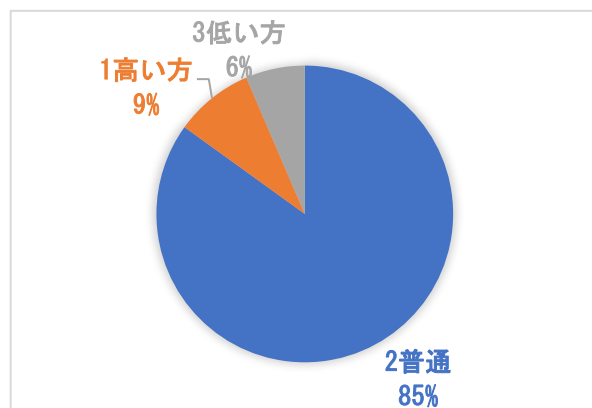


（4）総合的な学修の到達レベル

① 1～2年次

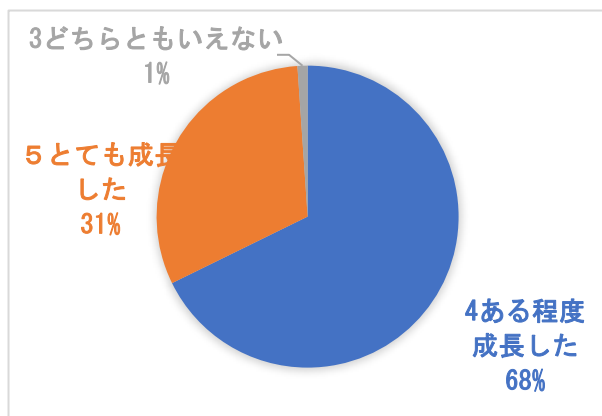


② 3～4年次

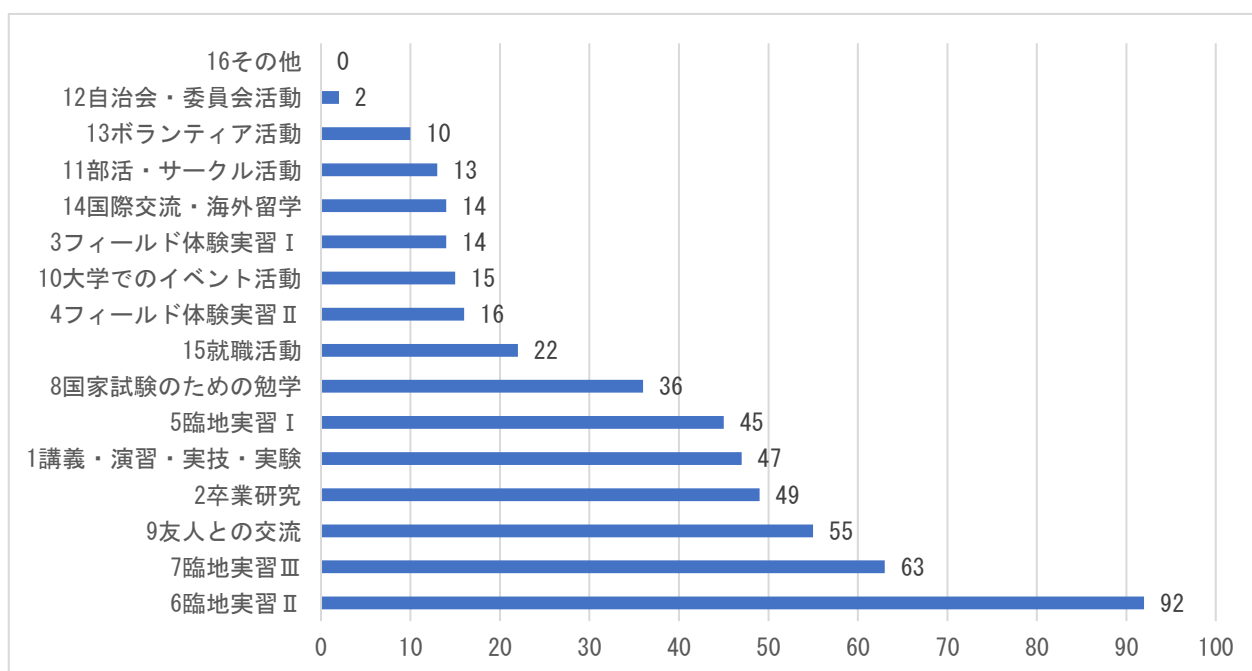


2. 本学における学修や活動の成果について

(1) どの程度成長したと思うか



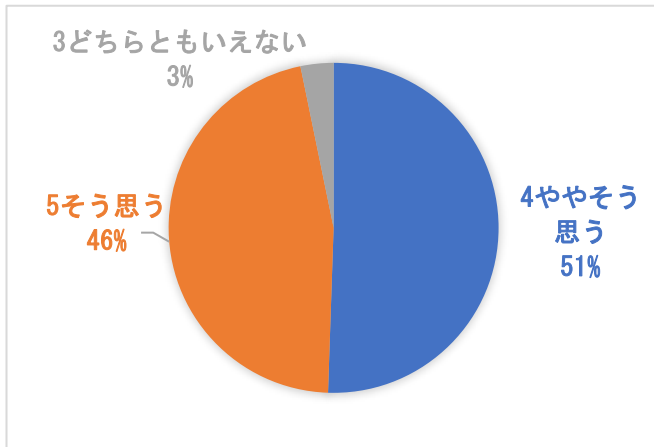
(2) 成長したきっかけ（複数回答）



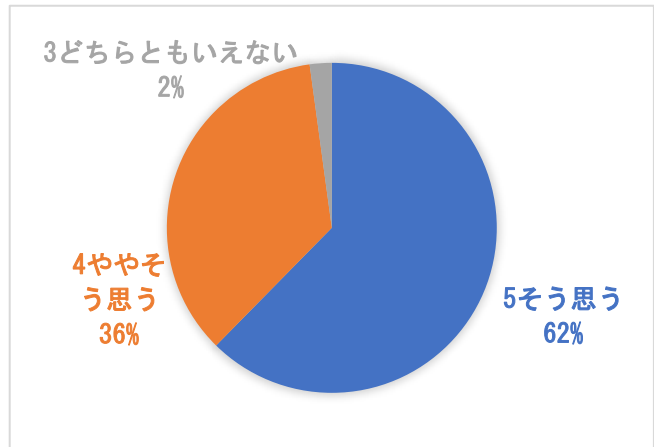
累計（名）

(3) 卒業時の到達目標に対する自己評価

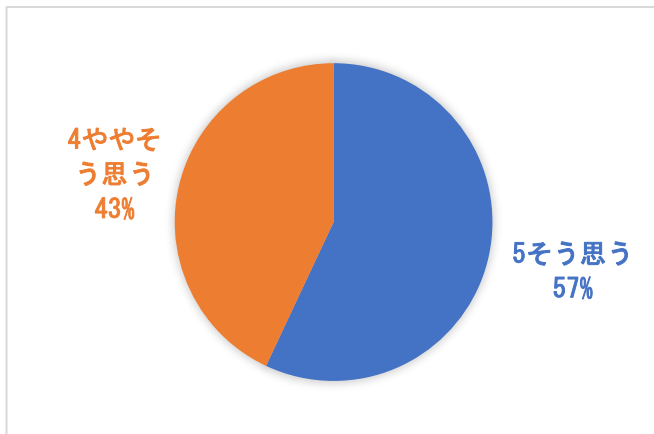
①人間に対する深い理解を身につけている



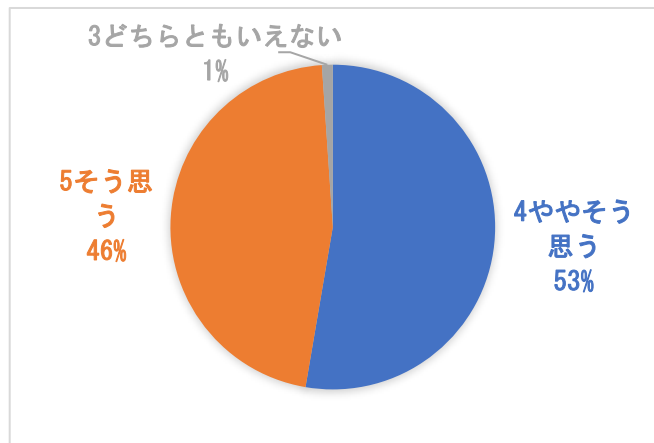
②倫理観を身につけている



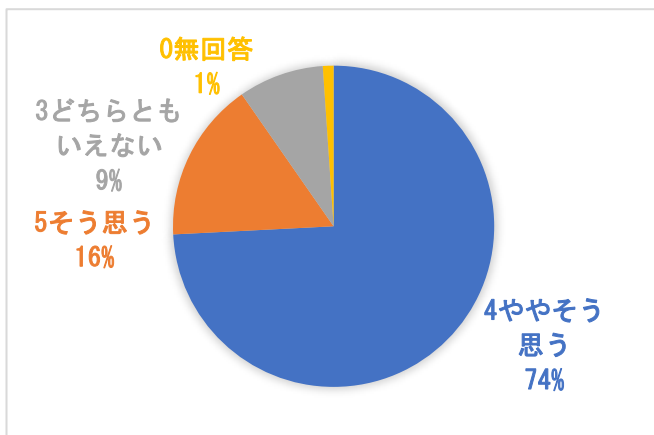
③喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性を身につけている



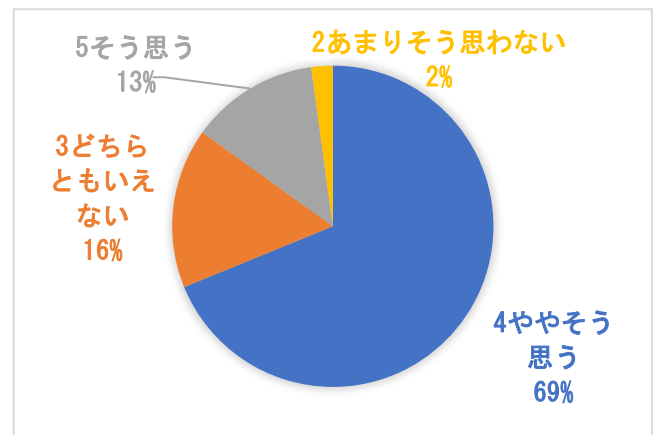
④自己のもてる力を差し出せる温かい心を身につけている



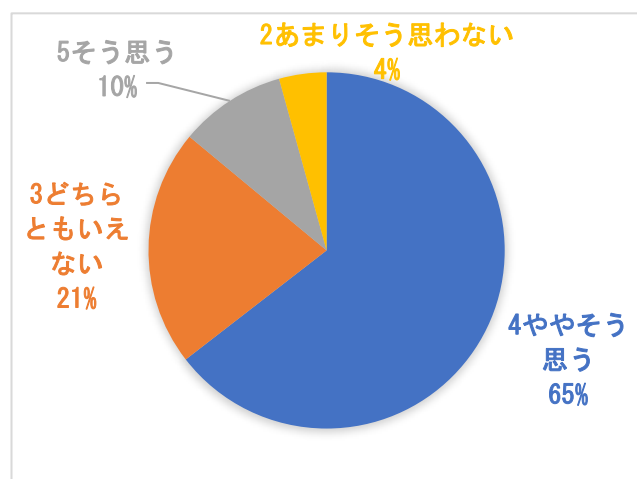
⑤自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考できる



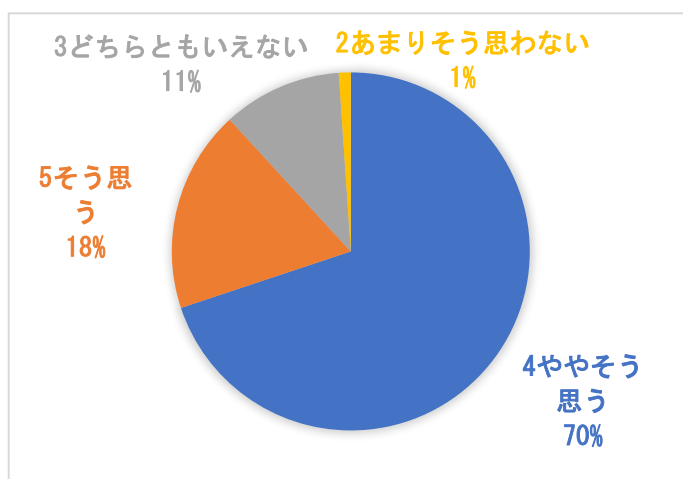
⑥社会情勢の変化に主体的・創造的に対応する基礎的能力を身につけている



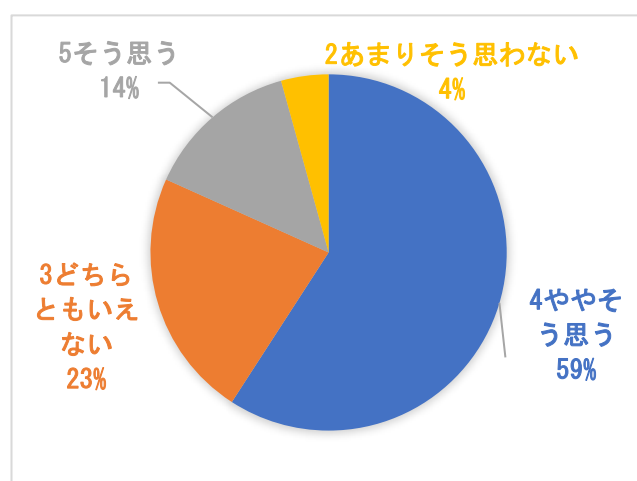
⑦科学技術の発達に主体的・創造的に対応する基礎的能力を身につけている



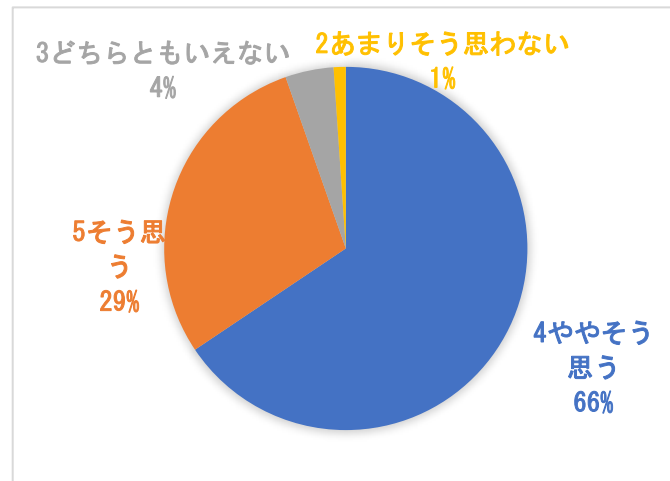
⑧さまざまな健康状態の人々に関わることができる専門知識を修得している



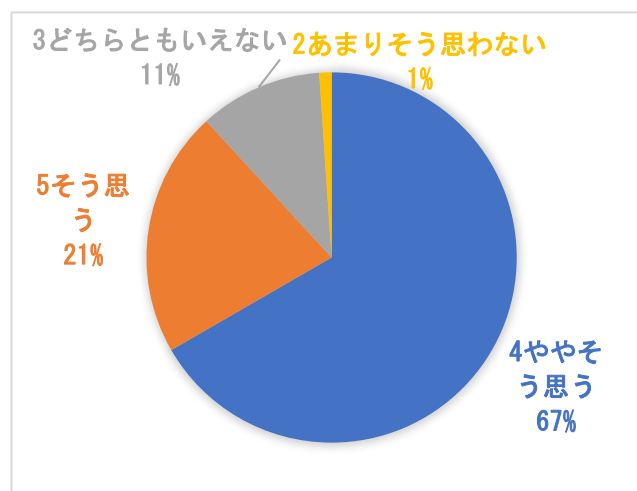
⑨さまざまな健康状態の人々に関わることでできる技術を修得している



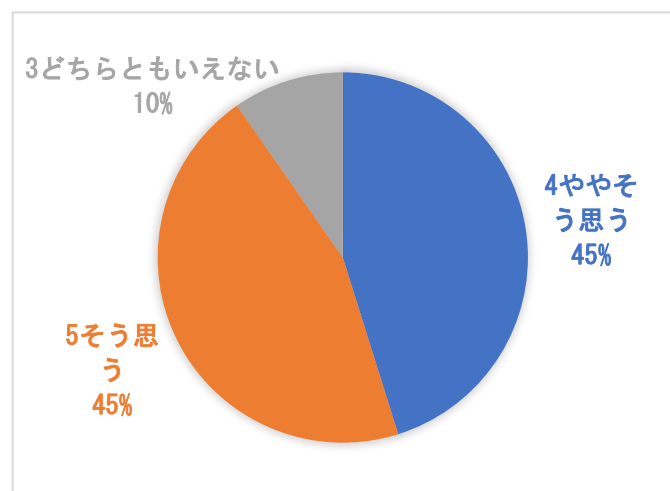
⑩個別的な看護ニーズを見いだす基礎的能力を身につけている



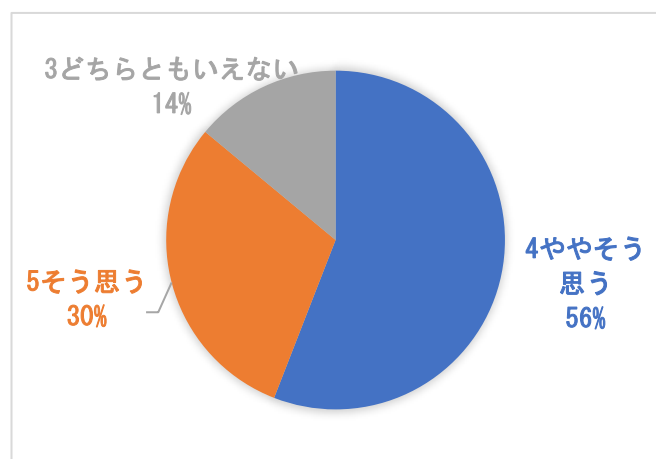
⑪科学的根拠に基づいた実践ができる基礎的能力を身につけている



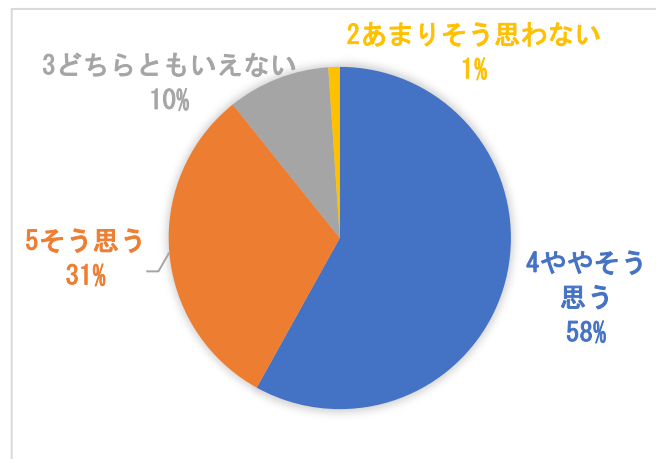
⑫自己の専門職に対する誇りと責任感をもっている



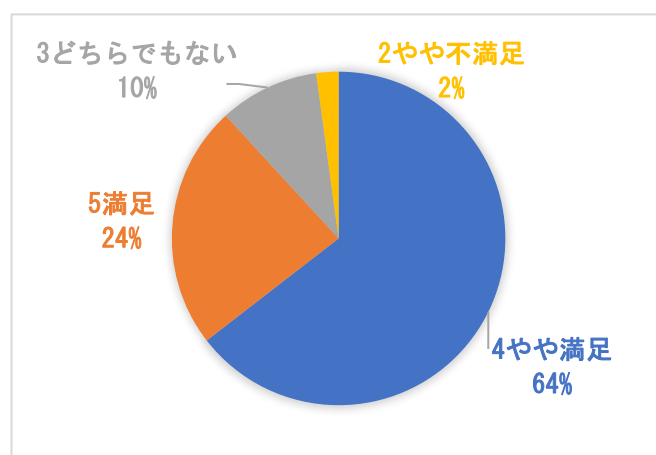
⑬看護の果たすべき役割を追究している



⑭保健・医療・福祉等関連領域の人々と専門職者として協働できる力を身につけている



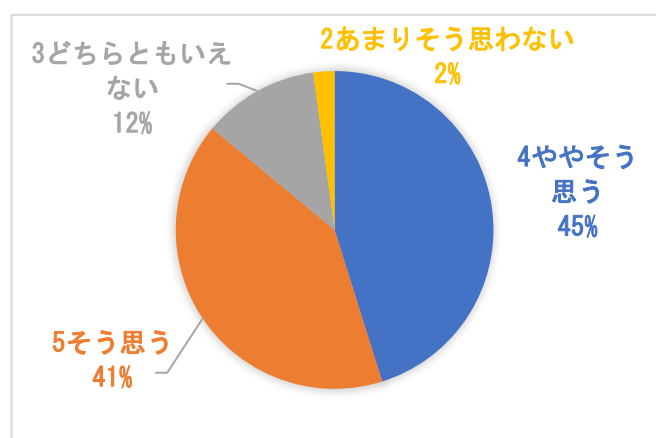
(4) 到達状況への満足度



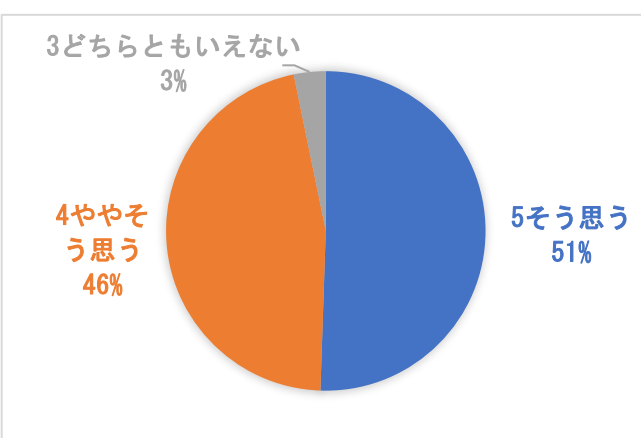
3. 教育内容や教育環境について

(1) 教育内容や教育環境

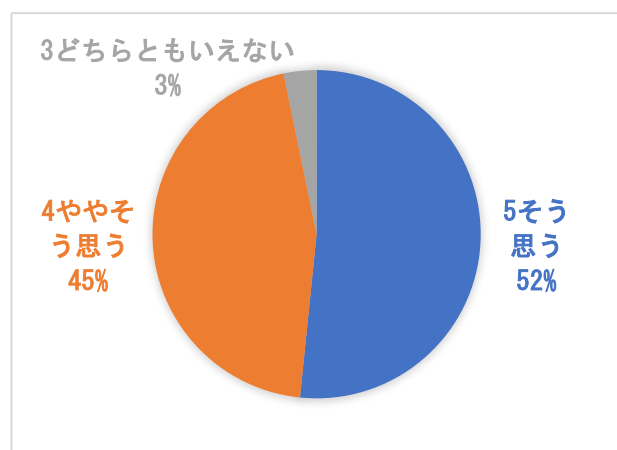
①普遍分野の教育内容は充実していた



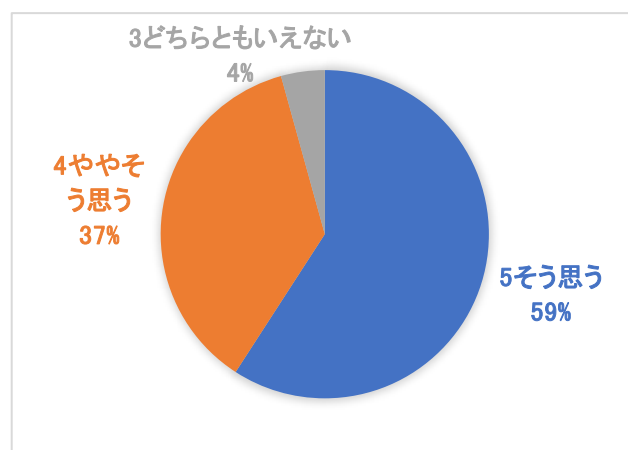
②専門基礎分野の教育内容は充実していた



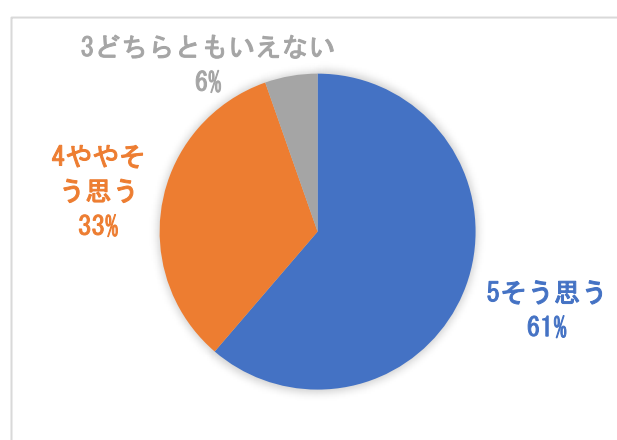
③専門分野の教育内容は充実していた



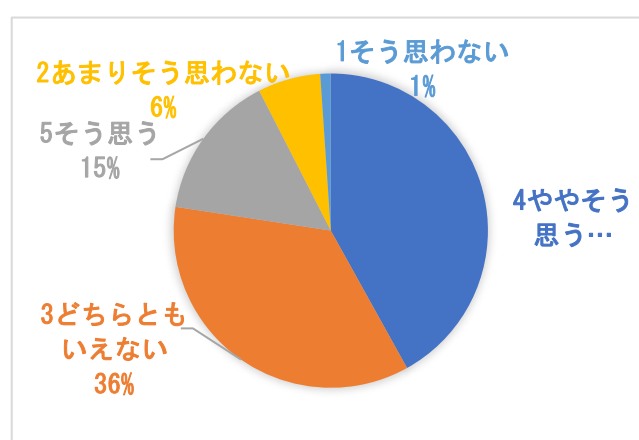
④看護学実習の教育内容は充実していた



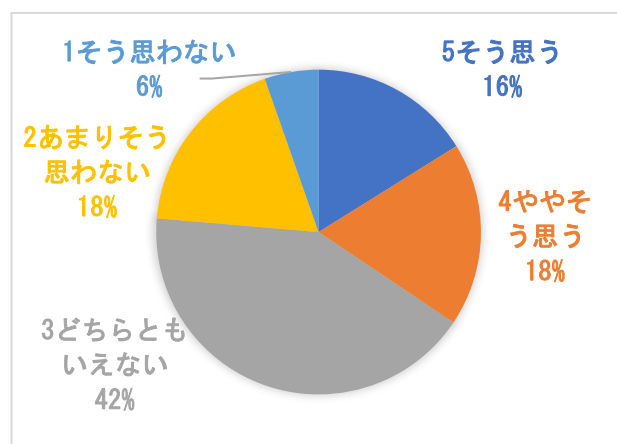
⑤卒業研究の教育内容は充実していた



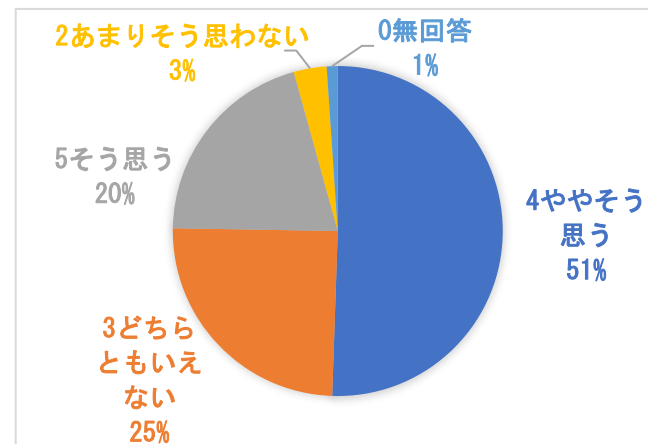
⑥教室の環境は適切であった



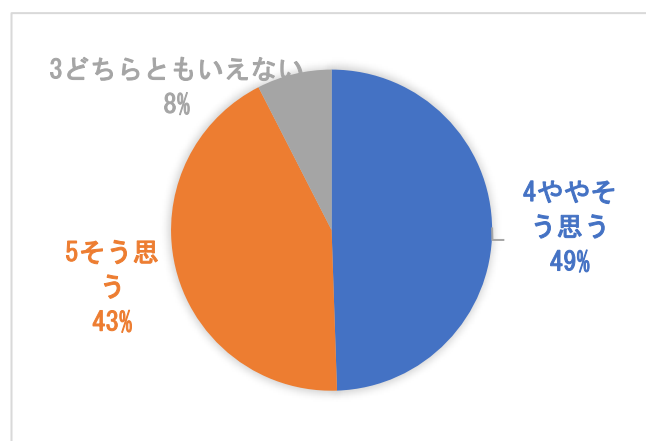
⑦ラーニング・コモンズを活用できた



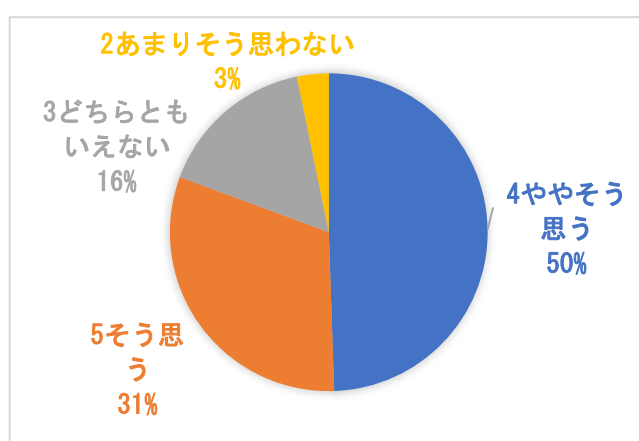
⑧時間割は適切であった



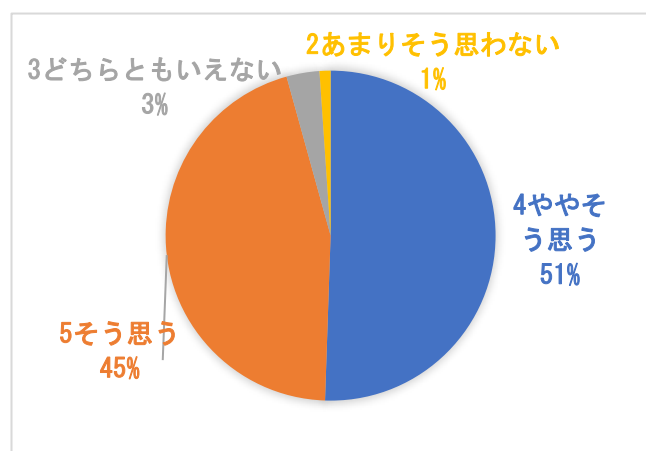
⑨成績評価は適切であった



⑩学修について相談できる環境があった

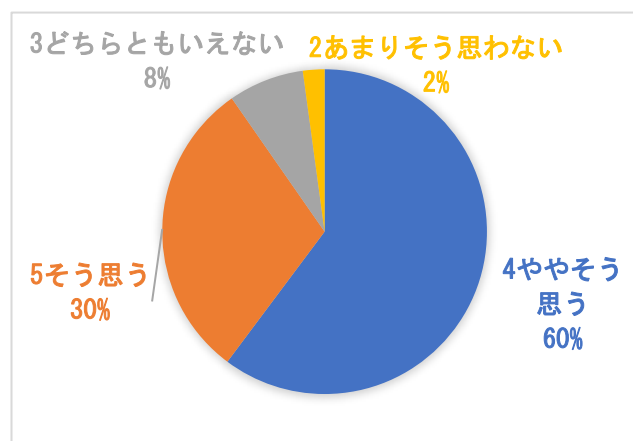


⑪教員の教育に関する熱意が感じられた

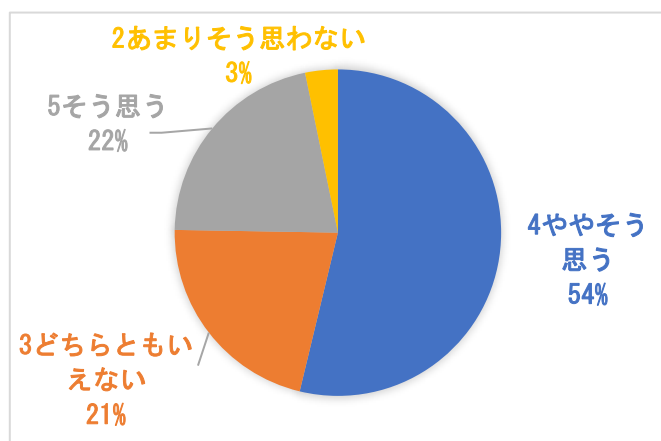


4. 総合的な大学生活の振り返り

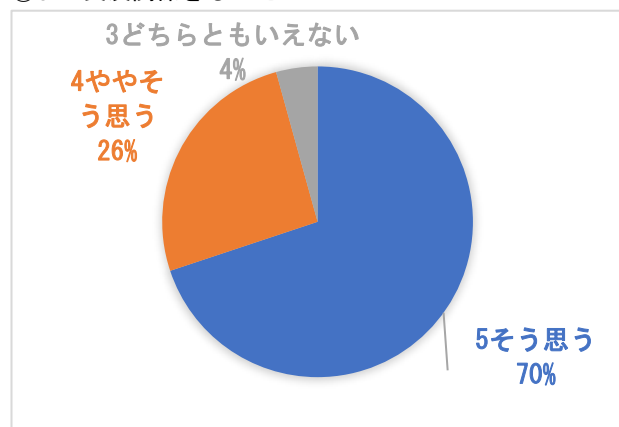
①勉学に励んだ



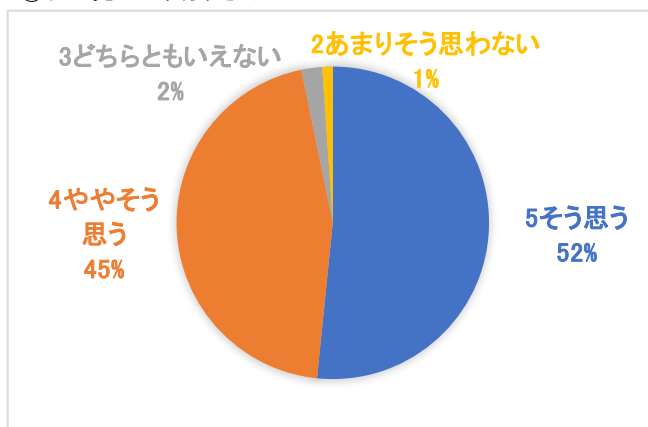
②主体的にチャレンジした



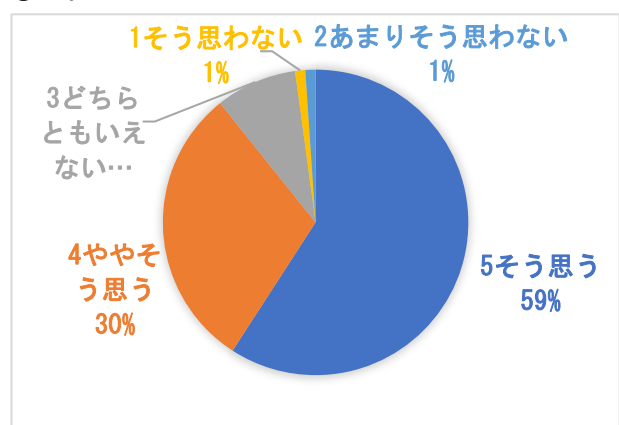
③よい交友関係をもてた



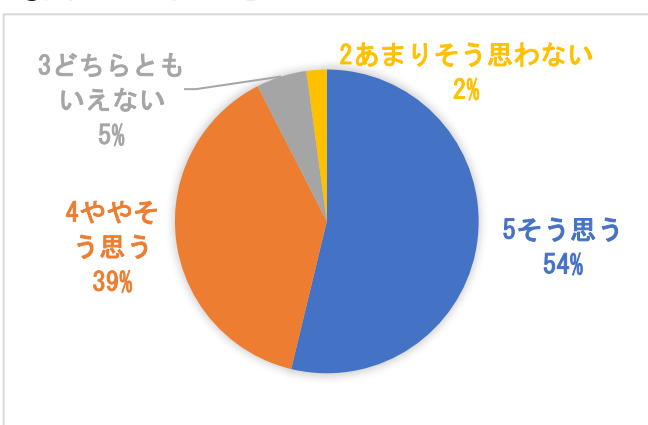
④よい先生と出会えた



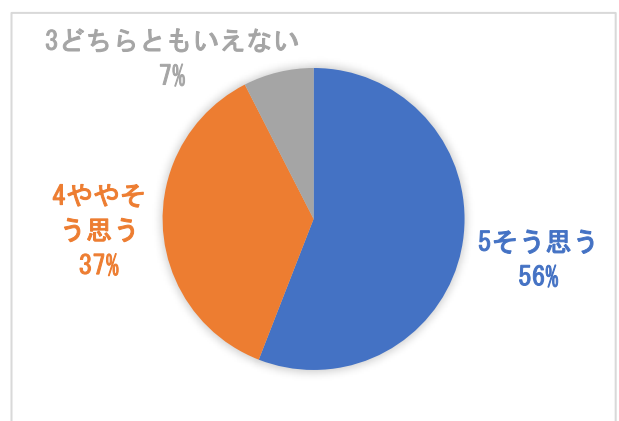
⑤健康に過ごせた



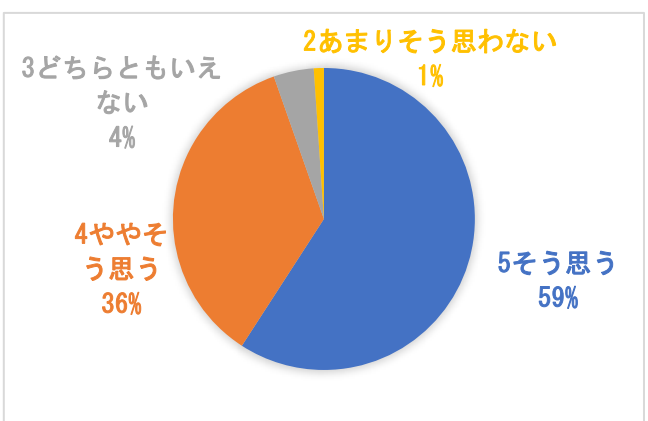
⑥充実した大学生活を過ごせた



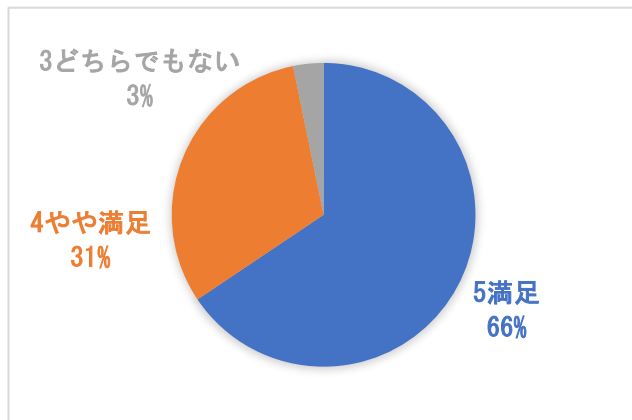
⑦希望する進路・就職に進めた



⑧宮崎県立看護大学の卒業生となることを誇りに思う



本学で受けた教育への満足度



<大学で受けた教育の満足度の理由>

1. 多くの学び、看護の奥深さ

●看護の基盤

- ・看護とは何か根本から学ぶことができた
- ・看護観をしっかりと身につけることができた
- ・科学的看護論を知れたことで身体の状態や患者の発言だけでなく状態や発言の裏にどのような対立があるのかなどを考えられた
- ・先生たちの熱心な教育がよかった。科学的看護論を通して看護とは何かを追求できた
- ・立体像、全体像を用いた看護展開でよかった
- ・看護の基本ともいえる「相手の立場に立つ」ということについて理解を深めることができたため
- ・看護師としての基本をしっかりと学ぶことができた
- ・患者さんへの立場の変換など看護の大切な部分を身につけることができたと思う
- ・対象と関わる際、人間的な関心をそそぐ大切さなどを学ぶことができた

●多くの学び（知識、技術、人間的成長など）

- ・看護職としての専門性、人間性を4年間の経験を通してしっかりと身につけることができたと思ったため
- ・入学した頃よりもたくさんの知識や考え方の変化などがあったから
- ・入学した時と比べて健康や病気に対する考え方や捉え方が変化し実習を通して患者さんとの接し方も学べたから
- ・自身の看護の意味を見出せるような支援や視野を広げることができる支援を受けることができたから
- ・自分が学びたいことを沢山学ぶことができた
- ・実習で実際に患者さんと関わることでより疾患理解やコミュニケーションのとり方を学ぶことができたため
- ・看護職者にとって大切なことを身につけられたから
- ・看護について学ぶことができたから
- ・4年間でたくさんの知識や技術を習得することができたから
- ・4年間で看護について学べ考えや知識が広まったから
- ・4年間で基礎的な知識からさまざまな技術まで学ぶことができたため
- ・看護に対する考え方などを学べたから
- ・看護師となる上で大切なことを学べた
- ・看護師になるために必要な考え方や知識を身につけることができ自分自身が人間的に成長することができたから
- ・看護師になる以前に人間として必要な大切なものについて様々なものを総合的に教わることもできたと思うため
- ・自分の頭で看護に対する必要な考え方や対象との関わり方について理解できるようになったと感じている
- ・看護に必要な知識や技術だけではなく考え方や物事の捉え方なども深く学ぶことができたため
- ・医療者に必要な教育が受けられた
- ・この大学で学びたかった“寄り添う看護”を学ぶことができたから
- ・特に実習での学びが大きく先生方に支えられたため

- ・専門学校や他大学では学べない学びもできたため
- ・色々なことを学べた
- ・知識面以外にも社会関係を学び自分の糧になったと感じたため
- ・精神的なケアについて深く学ぶことができたから
- ・自分の望む将来に向けて学ぶことができたため
- ・実習等を通して実践力やアセスメント力が身についたと思う

●看護の魅力

- ・看護の奥深さを学ぶことができた
- ・看護のおもしろさに気づくことができた
- ・看護について勉強する中で楽しいと思うことができたから
- ・患者さんだけでなくその家族も含めて身体的な病だけでなく全人的にみて個別性に応じた看護をしたいと思いました。改めて看護のよさを実感する場面が多くこの気持ちとこの学びを大切にしていきたいです

●振り返りやグループ活動

- ・自分の考えを振り返る時間が一杯あったことで自分の考え方や行動を客観的にみることができるようになって日常でも看護でも役立てられるようになったから
- ・グループ活動等が多く自分たちで考えるという力をつけていくことができたと思うため
- ・たくさんの知識や技術を身につけることができた。自分についての振り返りの時間がとられていて目標が明確になった

2. 自己の成長、自信

- ・講義や実習が自分の成長につながったと思うから
- ・教育を受けて人間的にも成長できたと感じたから
- ・基礎的な知識から応用まで学ぶことができ人間として成長することができたと感じたため
- ・自信をもって就職できる
- ・4年間を通して大きく成長できたと思うから
- ・成長を実感できるから
- ・人間としても看護について学ぶことにしても成長できたと思ったから
- ・4年間を通して学べたことがたくさんあるし、その自分の成長を自分でも感じることができるから
- ・忙しい大学生活だったが学年が上がるごとに成長しているのを実感できた
- ・新しい出会いや学習の場となり考え方を成長させられたと思ったため
- ・成長を感じたから
- ・4年間を通して看護についての学びを深められたことや友人との関係、先生方との関わり、実習等で新たに自分のもつ力をみつけることができた。充実した4年間だったため。

3. 友人や教員の支え

- ・大変な時もあったが先生や友人に支えられ4年間過ごすことができたから
- ・先生方が丁寧に教えて下さりとても満足だったから
- ・大学生活を振り返りよい仲間、先生に出会えて学ぶことができ充実した毎日を送ることができたと思うから
- ・よい友達と先生に囲まれて学習できたから
- ・看護の知識や経験が得られただけでなく友人との交友やサークル活動等の関わりで大きく視野が広がったと考える
- ・熱意のある先生方に看護を教えてもらいよい経験となった
- ・臨地実習の時にすごく親身になって指導してもらった
- ・授業も実習も親切に指導してくださりとてもためになったと感じるため
- ・自分に足りない部分を先生方が実習や卒論を通して的確に見極めて下さり、自分の目標を持ち続けながら学ぶことができたから
- ・熱心に先生方が教えてくれた
- ・自分の看護観を発展させることができたのはコロナ禍でも先生が学生にあわせて対応してくれていたと感じたから

4. 充実した学生生活

- ・授業や実習など勉学面や悩みにも丁寧に対応して下さったので充実した学生生活を送ることができた
- ・学生へのサポートが充実していたので集中して勉学に取り組めた
- ・先生方と距離が近く相談・話しやすい環境であった。また地域に特化した大学だからこそ学べるものがあり地元で就職する者としてはとても充実した学習であったため。
- ・勉学、アルバイトなど両立できた

5. その他

- ・大学入学前よりずっと勉強するようになった。よい卒業研究ができたから
- ・特に不満はないため
- ・受けた教育に対して自身の学びや変化が追いついていないから

<本学の教育について充実・改善すべき点>

1. 学習環境

- ・勉強できる環境を増やしてほしいです
- ・実技の練習のしやすさ？
- ・PCを個人で用意してそれらを使える環境を整えてほしい

2. 実習

- ・臨地実習Ⅱで先生方によっては実習先から帰る時間が様々で遅いと睡眠時間が短くなりとてもきついのでできるだけカンファを早く終わらせグループによって帰りの時間が変わらないようにして頂きたいです
- ・実習の前にもう少し学ぶ時間がほしかった（疾病や技術）
- ・実習等が車を持っている前提であることが多いため何か配慮があれば嬉しいと思った

3. カリキュラム

- ・5限だけの授業の日は時間がもったいないと感じた。
- ・もっと実技を増やしてほしい。宮崎の自然の講義など必要だと思えなかった
- ・普遍分野の充実
- ・テストが重複しすぎると精神的にも体力的にもきついし、詰め込む形での勉強になることもあるから日程を先生方で話して組み込んだ方がいいと思った

4. キャリア支援

- ・看護師だけでなく進学する学生の支援をもう少ししてほしい
- ・国家試験の対策をもう少ししてほしい

5. 相談体制

- ・学習面や就職等について悩みがあった時どこに相談すればよいかわからなかった。学年担任による面談の機会を4年生次にはもっとつくっていただきたかった。
- ・何か悩みがある時などにもう少し気軽に相談できる所があったらよいと思う。あったはあったけど少し近寄りづらいなと感じてしまっていたため。

6. その他

- ・ホームルームなど説明がある時はバイトの時間調整等あるので、できれば早めに連絡してほしいと思った
- ・変更や連絡を口頭だけでなくメールなどにも送ってほしい。もう少し連絡が早いと嬉しい。
- ・教員同士の連携がとれていないと感じる時があった
- ・食堂で勉強している時に冬はとても寒かったので暖房がきいてくれるといいなと思いました